

## 市販雑誌への執筆（2022年以降）

2022年3月春号 季刊雑誌「農耕と園芸」66頁～72頁

連載13「栄養素の新知識」

カルシウム、ケイ酸は葉の表面から入らないが、茎より入る  
病虫害被害の軽減に効果大

2022年6月夏号 季刊雑誌「農耕と園芸」72頁～77頁

連載14（最終回）「栄養素の新知識」

迅速養分テストは画期的な優れた技術

土でも植物体でも操作が簡単で結果がすぐわかる

栄養診断のプロ職員は全員知っておくべき技術

2022年9月秋号 季刊雑誌「農耕と園芸」38頁～41頁

**新連載！ 収量・品質アップを狙え！渡辺和彦の篤農家見聞録**

エタノールを含んだ肥料を使いイチゴ栽培3年で高い糖度・収量アップに成功  
リービッチの無機栄養説一辺到の教育を受けた土壌肥料専門家が驚く、歴史を  
ひっくり返す大発見なのである。